

先生との約束

先生との出会いは私が小学校5年生のときです。特認校制度により体験でT小学校に行きました。その時に会ったのがI先生です。

先生はマジックをして初対面の私たちに明るく接してくれました。授業もわかりやすく、面白い夢のような授業でした。それだけではなく、先生はとても優しくて私が間違えたことを発表しても、その答えを否定するのではなく優しくアドバイスをしてくれました。私は先生に色々なことを教わりたいと思い、T小学校への転校を決めました。

転入してすぐに私は6年生が2人という状況に戸惑いました。しかし先生は私たちにプレッシャーをかけることもなく、「楽しく自由に学校生活を送ってこれからの自分に繋げられる充実した1年にしようね。」とおっしゃいました。

その言葉のとおり、私は色々なことに挑戦しました。大きな舞台で代表あいさつをしたり、今までの自分では想像できないようなことに挑戦したり、そのことが今の自分を作り上げてくれたのだと思うと先生には感謝しかありません。

小学校も卒業に近づいたころ、私たちは将来の夢について発表しなくてはなりません。しかしそのころの私は将来の夢が決まっておらずとても悩みました。

悩んだ結果、「好き。」を仕事にしたいと思い、自分の「好き。」を探しました。私が一番好きなのはI先生で、特に社会の授業が好きだと気づきました。私はそこでI先生のようになりたいと心から思いました。

そして、そのことを発表すると先生は私の背中を押してくれました。

「君は社会の先生にぴったりです。だから10年後私と一緒に働けるように頑張れ。」と先生に言われて私は小学校を卒業しました。だから、どんな辛いときも、その約束を果たすため、先生の言葉を励みに頑張っています。

前山 皓耶
(高校生)